

海のボランティア構想

～次世代に海を引き継ぐために～

2010年4月6日

日本財団 海洋グループ

目次

1. 海のボランティア構想とは
2. 求められる活動と新たな課題
3. 「渚の交番」とは
4. 「渚の交番」の概念図
5. 「渚の交番」活動の特徴
6. 「渚の交番」建物の特徴
7. 今後の予定

海のボランティア構想とは

海洋基本法を具現化し、次世代に海を引き継ぐために、国民一人一人が積極的に海との関わりをもち、そして海に関する様々な課題の解決に主体的に取り組むこと。

求められる活動と新たな課題

- 地域の事情やニーズを汲みとる地元主体型の活動
- 趣味的ではなく社会課題解決型の活動
- 一過性ではなく持続可能な活動
- 民官産学等の多様な関係者の連携による活動

<新たな課題>

- 活動の縦割り化が起き、分野横断型の取り組みが少ない
- 多様な団体や活動の結節点となる拠点がない

海とあなたを結ぶ

若交番

始まります

「渚の交番」とは

1. 活動の拠点を整備

2. 分野横断型の多様な取り組みを展開

- ①海岸の安全を守る通年による活動
- ②マリンスポーツの体験教室や大会
- ③環境調査や保護活動
- ④地域の安全を守る防犯パトロール
- ⑤体験学習や環境教育等の人材育成
- ⑥地域活性化のための各種イベント
- ⑦障害者海水浴等の福祉関連活動
- ⑧地域の文化・歴史を次世代につなぐ活動

3. 地元主体による社会性、公正性のある運営

助成先だけでなく、地元の協議会や行政、企業等の多様な関係者及び外部有識者からなる運営委員会を設置し、社会性と公正性のある運営を実現

「渚の交番」の概念図



「渚の交番」活動の特徴



「渚の交番」活動の特徴

事業の継続性を確立するため、有料シャワーや貸しロッカー、各種イベントの実施による資金調達を積極的に行う

分野を超えた様々な団体が「渚の交番」という共通の場に集い、連携することで、分野横断的な活動を促進する結節点となる

「渚の交番」建物の特徴



ソーラーパネルやLED電球等の導入による省エネ対応により、環境負荷の軽減と、管理コストの削減を実現

障害者対応トイレやシャワー、スロープ等によるバリアフリー対応により、誰でもいつでも安心して楽しめる海岸への玄関となる

今後の予定

<2010年度>

①宮崎県宮崎市青島海水浴場に「渚の交番」第一号がオープン(6月)

<助成事業>

- ・「既存施設の改修による「渚の交番」の設置」(宮崎市観光協会)(52,500,000円)
- ・「「渚の交番」活動の実施(宮崎県青島)」(宮崎ライフセービングクラブ)(5,040,000円)

②実現に向けた準備

<助成事業>

- ・「「渚の交番」活動の実施(千葉県九十九里浜)」(日本プロライフガード協会)(5,400,000円)
- ・「「渚の交番」活動の実施(静岡県御前崎市)」(日本プロウインドサーファー協会)(4,080,000円)

<スケジュール>

- ・2010年4月12日(月):運営に関する事前説明会及び安全祈願式(青島海水浴場にて)
- ・2010年6月26日(土):オープニングセレモニー(青島海水浴場にて)

海とあなたを結ぶ

若者の交番

＜お問合せ先＞

日本財団 海洋グループ(担当:和田、荻上)

電話:03-6229-5152

FAX:03-6229-5150

メール:cc@ps.nippon-foundation.or.jp